

CONTENTS

- 02 フィリピン共和国バコール市と友好交流都市協定締結
- 04 桜川の夏まつり
- 05 行政情報／真壁祇園祭に伴う桜川市バスの臨時経路変更
- 06 いばラッキー通信 vol.5 飲酒運転防止
- 07 まちの話題
- 08 桜川市小学校陸上記録会
- 09 ラジオ体操・みんなの体操会
- 10 健康ガイド
- 12 情報ひろば
- 15 文芸さくらがわ
- 16 地域医療情報／年長さんご紹介

表紙

フィリピン共和国バコール市と友好交流都市協定締結



桜川市は、5月23日にフィリピン共和国バコール市を訪問し、友好交流都市協定を締結しました。

写真は、バコール市役所での歓迎セレモニーの様子(上)、協定書に調印した大塚市長とラニ・メルカド・リベラ市長(左下)、地元小学校の歓迎の様子(右下)です。

桜川市の人口と世帯

【人口】 42,503人 (- 46)
【男】 21,067人 (- 28)
【女】 21,436人 (- 18)
【世帯】 15,341世帯(+ 3)
()は対前月増減

住民基本台帳
平成30年6月1日現在

桜川市とバコール市が 友好交流都市協定を締結

5月23日



問合せ／企画課 (☎ 58-5111・75-3111 代表)

教育分野での
交流がきっかけ

桜川市とフィリピン共和国カヴィテ州バコール市は、5月23日に友好交流都市協定を締結しました。今回の協定締結は、平成28年9月にブルガリア共和国シリストラ市と友好交流都市協定を締結して以来、2都市目になります。

本市とバコール市のつながりは、平成29年10月に岩瀬小学校とバヤナン小学校でICT技術(情報通信技術)を活用した英会話による相互交流がきっかけ。今回は、英会話交流に加えて、文化・芸術・スポーツ・福祉・産業など、両市の交流をより多面的に展開していくために、友好交流都市協定の締結を目的に訪問しました。

長、市議会議員らは、マーチングバンドの演奏やカラーガード隊の演技による盛大なセレモニーで出迎えられました。

調印式には、在比日本大使館の桑原敦公使兼総領事らも同席。大塚市長は「それぞれの地域特性を活かし、様々な形での市民の交流を深めていきたい」と挨拶。ラニ・メルカド・リベラ市長は「文化、教育、産業などの面で交流を深めていきたい」と挨拶を述べました。両市長は、相互理解と友好関係をより一層深めていくことを確認して、協定書に調印しました。

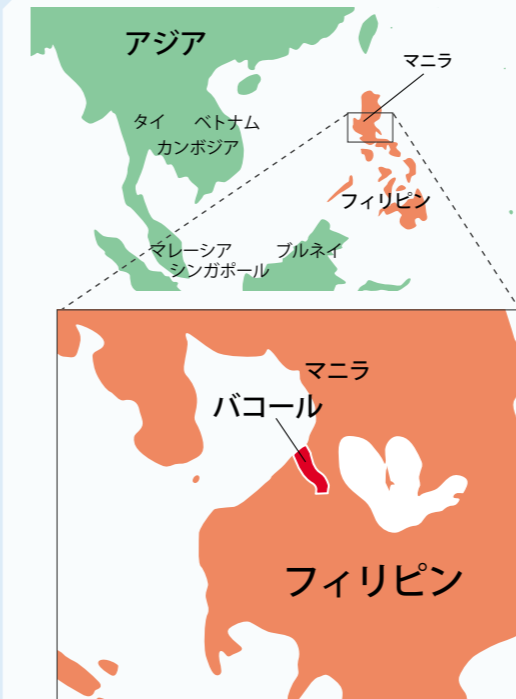
式典では、協定締結を記念して、バコール市との友好記念品の交換が行われました。また、桜川市国際交流協会とNPO法人みのりの会からは、廃車された消防自動車を寄贈しました。式典終了後は、両市長・両市議会議員による今後の交流について、活発な意見交換会も行われました。また、ICT技術を活用した英会話交流事業の拡大のため、現地のマンボック小学校を視察しました。

今後は、市民レベルの交流を図り、友好を深めるとともに、様々な分野において協力・連携していきます。

バコール市の紹介

フィリピン共和国カヴィテ州にあるバコール市は、人口約60万人で、面積は46・17km²の都市です。かつては、農業が主要産業でしたが、近年は、小売業や製

造業・サービス業が主要産業になってきています。また、住宅地や商業地へと急速に変化したことで、マニラ首都圏のベッドタウンとして発展してきています。



2



3



1

1 さくらがわ応援大使の島田恭子さんが制作した桜文皿などの記念品を交換しました
2 バコール市で盛んなマーチングバンドとカラーガードでの歓迎
3 視察先の地元のマンボック小学校の児童たちから伝統舞踊で歓迎を受けました

撮影：日刊まにら新聞 伊藤明日香